



0^{ゼロ}から創る奈良

奈良市長

2016.11.20 Vol.80

仲川げん

ニュースレター

書：紫舟

NEXT

4

TOPIC

入込観光客は1,500万人の大台に

昨年、奈良市を訪れた観光客は1,498万人、前年比約6%の伸びとなりました。これは平城遷都1300年祭を除くと近年で最も多い数字。このうち外国人観光客は98万人と35万人の増、宿泊者も11万人から23万人に倍増しているのが目を引きます。宿泊については一般客を含めた全体でも161万人と伸び続けています。今年に入ってから既に上半期は前年比2割以上の増となっており、明らかに客室不足の状況が生じています。奈良県は全国一宿泊客室数が少ないと言われていますが、奈良市のデータを見るとこの10年間でホテル数が19施設から31施設に急増、客室数も1,634室から2,554室に着実に充足し始めています(厚労省統計)。これは同期間の京都市の伸びの実に2倍、つまり京都はやや成長の限界があるのに対し奈良はまだ「伸びしろ」がある、とも言えます。さら

に今年に入ってから既に2軒が開業、来春にはJR奈良駅前にピアッツァホテルとドーミーインが完成しさらに約350室増える予定となっています。

観光客の及ぼす経済効果は日帰りが3,871円、宿泊客が25,966円と大きな差があります。そこで観光の形態を「滞在型・宿泊型」に変えていこうと市でも様々な対策を講じています。宿泊率を上げるには、やはり滞在時間を延ばす仕掛けが必要。従来の世界遺産のみの観光ではなく、もう一步足を延ばしてもらう工夫、あと1時間でも滞在してもらう魅力を高めていくことが重要です。具体的にはここ数年間で急成長している奈良町をはじめとした近世の街並みを活かした観光、また東部の農村資源を活かした体験型の観光などに加え、近隣市町村との連携も含め積極的に伸びしろを広げてきたいと思っています。

今年最後の市政報告会のご案内 2016年12月23日(金・祝) 15時~16時30分

12月議会の報告とゲストを迎えてのトークセッションを開催。今回のゲストは東京都議会議員のおときた駿氏(33歳)。都議127人中わずか3人の与党議員として小池都政を支える。ブログを活用し既存政党に与しない独自のスタンスで注目を集めるおときた都議が奈良市政を斬る!

特別ゲスト:おときた 駿 氏(東京都議会議員)

場所:奈良商工会議所大ホール(奈良市登大路町36-2)

定員:150名 参加費:無料

おときた 駿 氏 プロフィール

1983年生まれ。早稲田大学政治経済学部を卒業後、LVMHモエヘネシー・ルイヴィトングループで7年間のビジネス経験を経て、現在東京都議会議員一期目。ネットを中心に積極的な情報発信を行い、日本初のブロガー議員として活動中。



活動報告 [16年10月]

仲川げんの動きをダイジェストでお伝えします。さらに「見える市政」の実現に向け、市HPでは「奈良市ニュース」を毎週金曜日に配信!

2日(日) RUN伴の日、認知症啓発プロジェクト



認知症になっても安心して暮らせる社会づくりを掲げ、日本列島を走破するプロジェクト「RUN伴(ランとも)の日」。高齢者だけでなく若年性認知症への理解を広めます。私も職員と一緒にバトンをつなぎました。

5日(水) 環境部の新体制がスタート。「本気度を示す」



職員による環境清美センターでの窃盗・業務上横領事件(既に懲戒免職済み)を受け、環境部の体制を大幅に刷新。人事課長をはじめ総務部と警察OBによる合同チームで服務規律の回復を目指します。

11日(火) 新斎苑計画地、第三者評価で「安全性を確認」



市の進める新斎苑事業に対し、災害時の安全性を理由に反対する意見があることを踏まえ、京都大学防災研究所の3名の専門家に第三者評価をお願いしました。結果は「問題はない」「地盤として良好」。

14日(金) 姉妹都市ベルサイユ市長が来寧



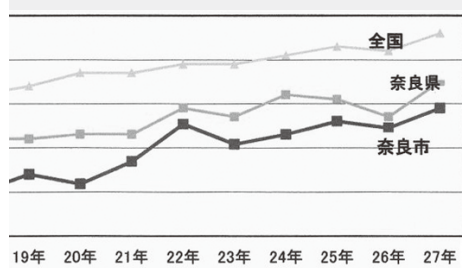
姉妹都市ベルサイユ市長が奈良市を訪問してくださいました。今年で姉妹都市提携30周年となることから、ベルサイユ市長フランソワ・マジエール氏一行が19日まで奈良市に滞在されました。

16日(日) 敬老会に参加。百歳以上は212名に!



市内各所、どの会場も元気なお年寄りの姿で溢れています。祖父母との同居で育った私には、三世代で囲む食卓で昔話から戦争体験までいろんな話を聞いた懐かしい思い出があります。

26日(水) 奈良市の出生率、近年で最高に



昨年の合計特殊出生率を発表。奈良市は1.29と中核市移行以来、最も高い数値となりました。年間の出生数も2,549人と前年より26人も増加。今後も子育て支援に力を入れて参ります。

ふるさと納税「ふるさと母校応援寄付」開始

昨年、2億5千万円を超えた奈良市のふるさと納税。今年も絶好調です。4月～10月までの実績はすでに2千件、金額としては7000万円を超え前年と比べ約1.3倍。10月からは学校施設の充実を目的とした「ふるさと母校応援寄付」という企画をスタート。社会人になると県外に就職する方が多い奈良市の特性を逆手に取り、OBOGに母校を応援してもらおうという狙いです。例えば鶴舞小学校では、OBであるマイクロソフトの樋口泰行会長に「応援大使」に就任して頂くなど学校ごとに知恵を絞っています。詳しくは各学校のホームページをご覧ください。

11月報告会、満席のご参加に感謝!

去る11月3日に横須賀市の吉田雄人市長をゲストに迎え、市政報告会を開催しました。吉田市長は私や熊谷千葉市長と同じ2009年初当選組。中核市市長会では副会長として会長の私を支えています。議会との対立から百条委員会を3つもかけられるなど、厳しい政治状況の中で孤軍奮闘されている姿に大いに刺激を受けました。お陰様で会場はほぼ満員となり、成功裏に終えることができました。改めて感謝申し上げます。



仲川げん後援会

〒630-8301 奈良市高畑町826-1
FAX:0742-26-0398

ボランティア
募集中!

■ ご意見をお待ちしています

「市長への手紙」であなたの声をお聞かせください。「市長への手紙」は、市民の皆さんの市政に対するご意見やご提言を広く市政に反映させる制度として実施します。専用封筒は、市役所や公民館などの市の施設に配置しています。

詳しくは、奈良市役所広報広聴課までお問い合わせください。

